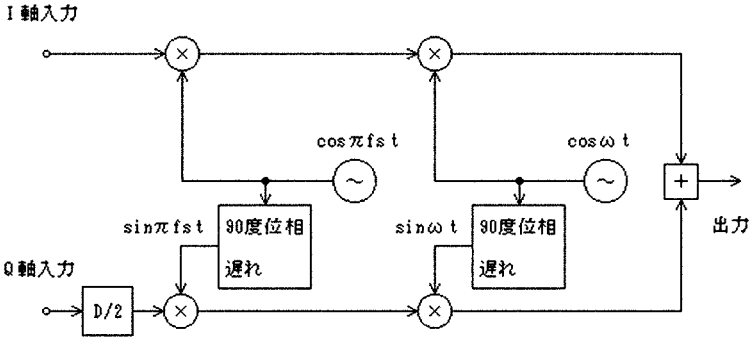
$S=(L-R)\sin(\omega t)$

$R=P\sin\left(\frac{\omega}{2}t+\theta\right)$

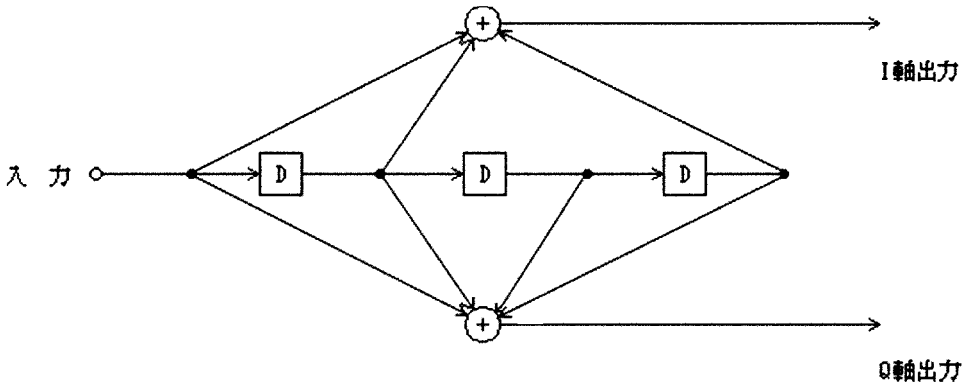
注１　Ａは、主搬送波を変調する信号の電圧とする。
　２　Ｍは、主チャネル信号の電圧とする。
　３　Ｓは、副チャネル信号の電圧とする。
　４　Ｐは、パイロット信号の電圧とする。
　５　Ｌは左側信号の電圧とし、Ｒは右側信号の電圧とする。
　６　ωは、副搬送波の周波数の２π倍とする。
　７　*P*はパイロット信号の電圧の振幅とし、θは当該信号の位相とする。
　８　ｔは、時間とする。

別図第二号（第10条第１項関係）



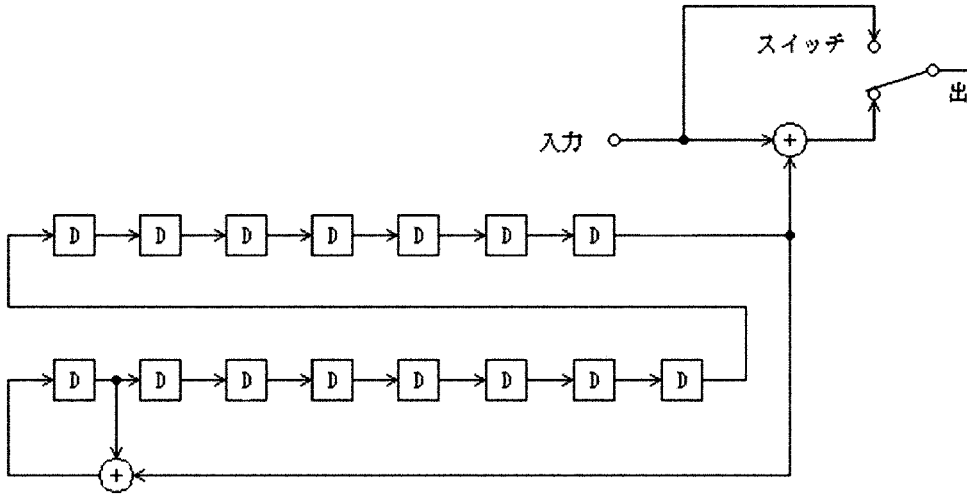
注１　D／2 は、１／２ビット遅延素子を表す。
　２　㊀は、発振器を表す。
　３　⊗は、乗算器を表す。
　４　㊉は、合成器を表す。
　５　ωは、搬送波の角周波数とする。
　６　f_sは、12.288MHzとする。
　７　πは、円周率を表す。

別図第三号（第10条第２項関係）



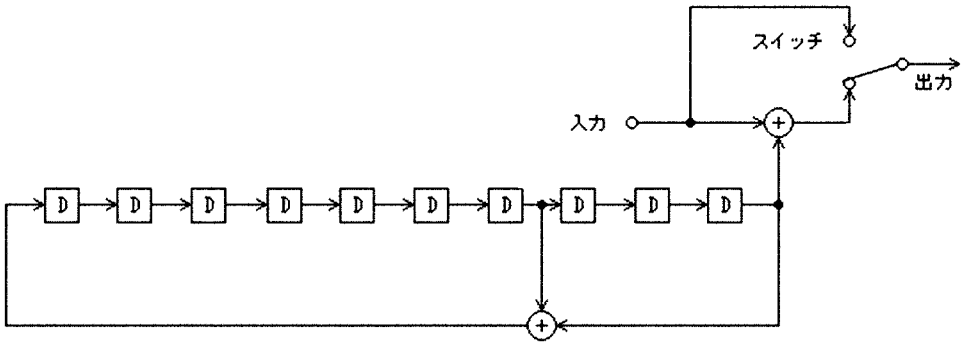
注１　Ⓓは、１ビット遅延素子を表す。
　２　㊉は、排他的論理和の演算素子を表す。

別図第四号（第10条第３項及び第11条第１項関係）



注１　Ⓓは、１ビット遅延素子を表す。
　２　㊉は、排他的論理和の演算素子を表す。
　３　スイッチは、多重フレーム行列の第１列の第１行から第６行まで、第２列の第１行から第６行まで及び第３列の第１行から第４行までの符号を入力するときは上側に、その他のときは下側に接続するものとする。
　４　多重フレーム行列の第５行第３列の符号が読み出されるとき、全ての１ビット遅延素子の符号は「１」とする。

別図第五号（第11条第２項関係）



注１　Ⓓは、１ビット遅延素子を表す。
　２　㊉は、排他的論理和の演算素子を表す。
　３　スイッチは、フレーム行列の第１列の第１行から第16行までの符号を入力するときは上側に、その他のときは下側に接続するものとする。
　４　フレーム行列の第17行第１列の符号が読み出されるとき、全ての１ビット遅延素子の符号は「１」とする。